【別紙 5】

研修番号 27

平成 29 年度看護職員の能力向上対策研修事業開催要項
（特定分野における実習指導者講習会）

公益社団法人鹿児島県看護協会

1. 目的

在宅医療が推奨され，看護職の役割は病院から地域へと拡大し，看護職には広く患者・家族の生活の場に即した看護の提供が求められている。このようなことから，看護基礎教育においても，医療施設に入院中の療養者の看護だけでなく，外来・地域・在宅との継続看護及び在宅看護の理解が重要となっており，看護師等養成所の実習場所も，訪問看護ステーションや地域包括センター等が増加してきているところである。

そこで，特定の分野の実習を行う病院以外の実習施設で，実習指導の任にある者（以下「実習指導者」という。）又は、将来これらの施設で実習指導者となる予定の者が、実習の意義および実習指導者としての役割を理解し、特定分野における効果的な指導ができるよう必要な知識・技術を修得させることを目的とする。

2. 実施主体　　鹿児島県（鹿児島県看護協会受託）

3. 講習期間　　平成 29 年 7 月 21 日（金）～　8 月 8 日（火）のうち 7 日間
（7/21、7/24、7/28、7/31、8/1、8/7、8/8　　予定）

4. 実施場所　　鹿児島県看護協会研修会館（〒890－0064　鹿児島市鴨池新町 21－5）
℡　099－256－8081　　fax　099－256－8079

5. 受講資格

(1) 次のいずれかに該当する実習指導者の任にある者であって、現に実習指導者の任にある者又は将来実習指導者となる予定の者。ただし、イについては、助産師確保対策の一環として、当面の間、以下に掲げる実習施設に加え、助産師養成所の実習施設である小規模な病院の助産師については当該講習会の受講を認めることとする。

ア　保健師養成所における公衆衛生看護学実習を行う病院以外の実習施設の保健師

イ　助産師養成所における助産学実習を行う病院以外の実習施設の助産師

ウ　看護師養成所における老年看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習又は在宅看護論実習を行う病院以外の実習施設の保健師、助産師、看護師又は准看護師

エ　准看護師養成所における老年看護実習又は母子看護実習を行う病院以外の実習施設の保健師、助産師、看護師又は准看護師

オ　実習指導者講習会を未受講の者

(2) 保健師養成所、助産師養成所、看護師養成所又は准看護師養成で（1）のアからオに掲げる実習において、現に実習指導の任にある者

6. <u>定員　30 名</u>

所属長の推薦書に基づき，受講者として適当と認める者。

7．講習科目　別表特１のとおり

8．募集期間　平成 29 年 4 月 17 日（月）～ 4 月 22 日（土）必着

9．受講申し込み方法　（申込様式７）

施設で適任者を選考のうえ，次の書類を添えて申し込む。

１）平成 29 年度実習指導者講習会推薦一覧（別紙特 1）

２）受講申し込み調査書（様式特 1）

３）推薦書（様式特 2）

４）平成 29 年度保健師助産師看護師等養成所実習受入れ状況（様式特 3）

５）受講前アンケート（別紙特２）

10．受講決定　　受講決定後，受講決定通知を各施設宛通知する。

11．修了証　　講習を修了した者には，修了証を交付する。

12．経費の負担

1）受講料 12.000 円（資料代等）受講決定後納入

2）宿泊費，交通費，その他受講に必要な図書費，研究費，各自コピー代等は受講者負担とする。

13．その他

1）宿泊，受講のための交通手段は各自で手配してください。

2）受講者用の駐車場は準備していません。近くの駐車場をご利用ください。

別表特１

平成 29 年度

看護職員の能力向上対策研修事業（特定分野における実習指導者講習会）講習科目

鹿児島県看護協会（平成 29 年 7 月）

区分	科　　目	目　標　及　び　内　容	時間数
教育及び看護に関する科目	教育原理 教育心理	教育の意義や基礎的な概念について学ぶ。 人間の発達と学習過程における青年期の心理的な特徴について人間の成長・発達段階に合わせて理解する。 1）青年心理 ・現代青年の特徴 2）学習過程における心理 ・現代の青年の学習過程における心理、諸問題	3
	教育方法 教育評価	教育の基本的な方法や技術、評価方法について理解する。 ・授業の方法 、評価の目的、評価方法など	3
	看護教育課程	看護基礎教育の課程とその概要について理解する。 ・看護教育課程、教育計画、実習指導計画	3
実習指導に関する科目	実習指導の原理	実習指導の基本と実習指導者のあり方等について理解する。 １）実習指導の意義　２）実習指導者の役割	3
	実習指導の実際Ⅰ （講義）	実習指導方法を理解する。 ・実習計画の立案と指導方法	3
	実習指導の実際Ⅱ （演習）	実習指導の展開について理解を深め，演習等を通してその実際を学ぶ。 １）実習指導案の作成 ２）実習指導計画の展開と評価	24
その他	その他	・開講式　　・講習会オリエンテーション ・閉校式　　・講習会まとめ	3
		合　　計	42